#### より多くのなかまを職場で迎

#### 2021年6月20日号 第215号

毎月2回5日・20日発行

東京都千代田区霞ヶ関2の1の3 発 行

1部20円(組合員の購読料は組合費に含む)

国土交通労組は5月23日、

(通巻1371号) 昭和37年12月3日 2021年6月20日 国交労組 第215号

と夏季闘争へむけたとりくみの強化について確認する

討議では、

『では、春闘の中間的総括本部・支部・地協あわせ

第2回拡大支部代表者会

組織強化・拡大等について活発な議論が交

て8人が参加しました。 議をWeb会議にて開催し、

#### 職場を見つめ

わされました。 とともに、

した。 りくみ・方針を提案しま 題であるコロナ禍での職 場の対応や職場で発生し 昨年からの一番大きな課 ての重点課題に対すると ての各地協、支部におい て報告を行ったうえで、 的総括と夏季闘争へむけ ている問題、春闘にむけ たとりくみの強化につい 本部から、春闘の中間

とられる。国民への悪影 が委縮せず、賃上げを求 と来ていない実態があ しているが、現場がピン 響を分析して訴える必要 ない、システム整備だけ っている面がある。我々 とに罪悪感を感じてしま る。また、コロナ禍におい で各種問題について周知 がある」(本省)、「機関紙 が引き上げられ、人員も て賃上げの声を上げるこ 「デジタル庁発足にとも

に、コロナによる医療崩 築してこなかったため 空港)、「国や自治体が、責 勢力に対抗していかなけ る。公務を食い物にする る合理化が原因と思われ 著しい。国や自治体によ 壊が起きてしまってい 任を持って医療体制を構 ればならない」(近畿港湾 空)、「公務員バッシング ばならない」(西日本航 ことを広めていかなけれ の賃上げにつうじている により、行政の弱体化が

場での問題が報告されま 政の拡充の必要性を訴え る。このことをふまえ、行 い」(近畿建設)など各職 ていかなければならな

各地協、支部からは、



西日本航空・佐藤支部長賃上げのとりくみの

めていくことが社会全体

近畿港湾空港・平田委員長公務員職場の現状を報告する

みを強めていくことを意 て、よりいっそうとりく せ、春闘、夏季闘争におい 志統一しました。 報告された課題とあわ

## いかにして動くか

報告や決意表明がありま 交通労組全体の最重要課 題として、本部からの新 に、参加者からも多数の たなとりくみ提案ととも 組織強化・拡大は国土

対面での勧誘が難しい、 まっての議論が難しい、 できない、といった意見 ている中では動くことも 職場への出勤が抑制され コロナ禍において、集

されており、なんらかの こまねいているだけでは 部、地協においても、手を くる姿勢が見えていま 形で、組織強化・拡大に むけて具体的な動きをつ いけないことは重々理解 が多数出ましたが、各支

地協や支部から、「オン

役員の若返りをはかり、 もらえることができた。 また、3密にならないレ 責任を持ってもらうこと で新人の加入をすすめて

脱退した人が国公共済会 のメリットにより戻って た」(航空管制)、「過去に クを考え、宝探しゲーム を実施することができ

ている。現在は、コロナ禍 きた。声かけに活用でき グ』というものを実施し 求を大事にしたいと思い 空)、「以前から、若手の要 る制度なので上手く利用 して欲しい」(西日本航 "つながるミーティン る署名活動に苦慮し、す

ペースを一部活用し、カ 地協)、「組合事務室のス 話を聞いてくれた」(九州 ところ、10数人が参加し、 活動の充実のため、中堅 た」(羽田航空)、「草の根 する場にすることができ 軽に訪れて、相談したり フェ化した。組合員が気 ラインオルグを実施した

# 地協のとりくみを報告する

### うごめきを実感

ろもあり、コロナ禍によ でわかっています。しか え、集約数が伸びたこと た。外部団体の賛同が増 ったことを報告しまし 内での署名集約数が昨年 で過去最大の集約数とな し、支部においては、職場 が本部組織共闘部の調べ 本部から、5月18日時点 に比べ減少しているとこ 体制拡充署名について

に、地域や職種毎に連携 りくみの事例報告を参考 いる」(九州建設)など、と インでの実施を計画して で集合が難しく、オンラ し課題を抽出しつつ、い

ている」(神戸海運)など 紹介議員にはなってくれ ないが、話を聞いてくれ 保守系政党についても、 議員との懇談において、



神戸海運・八澤支部長地元国会議員との懇談状況

じめなければ。(YK) して、そろそろ何かをは っている。50歳を目前に 家と職場の往復だけにな

あることを確認しまし かにして動くかが重要で べての組合員からの署名 要請を行っていくことを 限に向け引き続き、議員 ます。本部は、署名提出期 があることがわかってい が集約できていない支部 報告しました。 各地協、支部からは、 提出 合い の意

反省をふまえつつ、署名

、あわせて、前年度の 義と重要性を確認し

期限に向けて、より

行う

ことを意志統一しま 活発なとりくみを

した。

財

政検討委員会から、 政執行について、組 一層

ある」(東京気象)、「外部 とりくみたい。地方での れてしまったことを反省 りと説明していく必要が されていないのでしっか ナ禍によりとりくみが遅 への依頼と回収が、コロ いて、なぜやるのか理解 している。次はしっかり 署名の意味、意義につ リモー 織財 答申について報告しまし 化を目指していくことと 進めることで財政の健全 た。本部からは、今後は、 しま

体制について検討を ートの活用や、中央

あらためて体制拡充署名 させる 関でのとりくみへのアイ るものとなりました。 会議をとおして、各機 はないかと感じられ るよう、触発された 直し、より一層前進 ことで、自らの活動 などが全体で共有さ や奮闘、その成果や

でき て、活動の活発化をはか 組織強化・拡大を軸とし を実現していこうと、今 ることで、労働条件改善 しろコロナ禍による職場 コ た会議となりまし 奮闘する決<br />
意を共有 題を解決するべく、 ロナ禍に負けず、む

> べる訳ではないが、とり に「趣味は仕事」といっ 楽しく送れるよう、自分 事を辞めてからの人生を ろうか▼「人生100年 を行うことが挙げられて 帯決議でも、政府と人事 から70歳までの就業機会 の改正により、この4月 あえずは一歩前進という 影響などの問題点や不安 ていないか▼かくいう自 ているだろうか。自虐的 域との共通の話題を持っ の趣味や娯楽、家族や地 くことばかりでなく、仕 時代」といわれるが、働 かなければいけないのだ 係もあるが、何歳まで働 いる。年金の支給との関 り方について必要な検討 院に65歳以降の就業のあ ている。国公法改正の附 確保の努力義務が課され では高年齢者雇用安定法 れていくが、一方で民間 的に65歳まで引き上げら べきか▼23年度から段階 があり、諸手を挙げて喜 理面からの新規採用への 職定年制の導入、定員管 や年齢差別ともいえる役 は、賃金水準の引き下げ 身を振り返ってみると、 やく成立した。内容的に 法案が、よう 検察庁法改正 旦廃案とな